

緊張の傾向と対策

海野

自動車教習所のインストラクター！。

西峰

仮免試験を受ける生徒。緊張しい。

古寺

仮免試験を受ける生徒。気がつかえる。

緒川

仮免試験を受ける生徒。代名詞に頼りがち。

自動車教習所。車の前にインストラクターの海野。
横に西峰、古寺、緒川が並んでいる。

海野 えーそれでは仮免試験を行なっていきます。西峰さん、古寺さん、緒

川さんの順に行いますので、まずは西峰さんから。

西峰 はい！

海野 古寺さんと緒川さんは後部座席にお願いします。

古・緒 はい。

海野 じゃあ西峰さんどうぞ。

西峰 はい！・・・はい！

海野 ・・・・どうしました？

西峰 すみません、緊張しちゃって。昔から試験って聞くと、必要以上に緊張してしまって・・・。

海野 そうですか。まあ試験といっても一発勝負では無いですし、最悪受け直すことも出来ますから、あまり緊張なさらずに。

西峰 ・・・・はい！

海野 大丈夫ですか？

西峰 はい！・・・私ですか！？

海野 そうですよ？

緒川 大丈夫ですか？無理はアレじゃ無いですか？

西峰 すみません・・・。

古寺 あの、よろしかったらこれ、ガムどうぞ。

西峰 あ、ありがとうございます。（ガムを食べる）

海野 え？

古寺 ガムには緊張を緩和させる薬が入ってるんですよ。

西峰 そうなんですか。あ、本当だ。落ち着いてきました。

海野 いやいや、え？

古寺 何ですか？

海野 いや、ガム食べながら試験受けるのはダメですよ。

西峰 え？

海野 当たり前じゃ無いですか。あと、ガムにそんな変な薬入って無いんですから。

西峰 え？嘘なの？

古寺 いやいや、へっへっへ・・・それは・・・ねえ？

海野 何が「ねえ？」なんですか。

古寺 いや、良かれと思って言ったんですけど。

海野 良かれと思つてつて。

緒川 いや、俺は良かったと思うよ。
え？

緒川 この人の緊張解けたし。あれですよね？「嘘も」・・・ねえ？「嘘も」・・・「いい」ですよね？

海野 「嘘も方便」ですか？

緒川、曖昧な顔で取り敢えず頷く。

海野 あ、聞いてもピンと来ない感じですか？

緒川 とにかくアレですよ。緊張してアレだせないのは、実力は、可哀想じゃ無いですか。それともアレですか？ガムを食べながらアレスするのは、運転、ですか？運転するのは道路交通法、違反ですか？学科教習では聴いてませんか？

海野 別にそういう訳じゃないですけど・・・判りました。じゃあ今回だけ特別ですよ？

緒川 論破。

海野 論破はされてません。海野さん、今日だけですからね？

西峰 うん。

海野 うん？

古寺 すっかり緊張が解けてきましたね。

西峰 お前のおかげだよ。

海野 すごく気安い！

西峰 じゃ、始めていい？

海野 どうぞ・・・。

西峰 はい後ろは何にもない・・・前もよし！ぺっ（ガムを吐く）
ちよっと！何ガム吐いてんですか！態度悪いな！

西峰 あ、・・・申し訳ございません！私、とんでもないことを・・・あああ！・・・ああああ！

崩れ落ちる西峰。

海野 え？なになに？どうしたんですか？

古寺 大丈夫ですか？あ、ガムが切れたからじゃないですか？
海野 ガムが切れた？

西峰 ああ！試験中になんてことを！ウエ、一気に緊張してきた！

海野 これ緊張なんですか？てか緊張してる時の振れ幅デカすぎませんか？
緒川 大丈夫？アレ呼びますか？アレ。（電話のマイム）

海野 救急車呼ぶようなことじゃ無いんじゃないんですか？緊張ですよね？
緒川 いやいや、あの、お母さんを。

海野 お母さん！？お母さん呼びますか？緊張で？

古寺 ……お母さんよ。

海野 なんでそんな無理な嘘を吐くんですか！？

古寺 良かれと思って！

海野 良かれませんよ！良かれま、せんよ！

西峰 うええ……もう、ダメですか？

海野 え？

西峰 仮免試験……もうダメですか？

海野 ダメっていうか……逆にいけます？その状態で。

西峰 ガム……ガムさえあれば大丈夫なんです……。へっへっへ、ガム
さえあれば、緊張しないですよ……。

海野 なんかに怖いですよ！

西峰 ねえ、ガムくださいよお。一粒でいいんです。一粒あれば、もう、全
部忘れられるんですよお。

海野 これ、本当にガムに変な薬入ってたんじゃないですか？

古寺 実は……そう、いや嘘です。

海野 なんで嘔吐こうとするんですか！？

古寺 そういう空気なのかなって思ってます！

海野 いいですよそういうのは！もうガムあげてくださいよ。

古寺 じゃあ……はい。（ガムをあげる）

西峰 ガムだあ！（ガムを噛む）

海野 完全にやばい人だよ……もう大丈夫ですか？

西峰 うん。オッケー。

海野 ……はい。じゃあ試験再開します。

西峰 じゃあみんな乗って。

乗り込む四人。

西峰 何処行く？

海野 それは指示します。

西峰 オツケー！

緒川 緊張してないとアレ高いね。アレ、テンション。

西峰 ああ。一杯ひっかけてから来てるから。

海野 はい。西峰さん終了です。降りてー！